



議会だより

No. 122

令和元年10月

発行/鳥取県日野町議会

- 平成30年度決算審査特別委員会報告
- 9月定例議会報告
 - 一般会計補正予算 条例改正 特別会計補正予算
- 7月26日臨時議会開催
 - 集中豪雨災害補正予算成立
- 一般質問
- 特集 おんぼっている人シリーズ



特集 黒坂カワコ公園を守る人たち
遊びに来てお「きらり日野町、かつば伝説の聖地」

令和元年9月定例会は、9月9日から27日までの19日間の会期で開催。平成30年度の一般会計と6特別会計の決算を審議し、賛成多数で認定しました。その他に、条例の制定・改正と補正予算を可決しました。

平成30年度決算審査

一般会計で34億円支出

移住・定住
2,149万円

新しい人を迎え
元気な町に

**医療と保健・
福祉の連携**
2,467万円

町民の健康づくりと、いつまでも
生きいき暮らせる町に

公共施設の整備
2億5,431万円

だれもが安全安心に
快適に暮らせる町に

**子育て
教育環境の整備**
5,306万円

安心して出産子育てができ、
子ども達がのびのびと
成長できる町に

決算審査特別委員会 指摘事項(主なもの)

収入未済額

一般会計・特別会計の収入未済額の総額は昨年度より減少していることは評価できる。しかし新規の滞納者も発生している。現状調査を十分に行い、徴収に努められたい。

事業の執行

予算化をしているにもかかわらず多くの不用額が計上されている。また、未執行の事業も見受けられる。十分に事業計画を立てた上で予算計上されたい。

JR伯備線利用促進事業

2年続けて会議が開催されていない。特急列車が根雨駅に停まらなくなる恐れもあるという危機感を持って取り組まれたい。

買物福祉サービス支援事業

この事業は見守り活動と移動販売に補助しているものだが、見守り活動につ

てはボランティアで行っている団体もあり、公平性も考慮し事業の仕組みを再考されたい。

地域活動支援交付金事業

自治会活動の支援策として有効な事業と思われるので、情報発信を十分にされ、事業効果を上げていただきたい。

介護福祉士養成奨学金制度

30年度の貸付はない。要綱の見直しを検討するなどして事業効果を上げられたい。

畜産振興

和牛飼養農家は年々減少し、高齢化が進んでいる。育成牛の導入助成だけでなく新規就農者の育成にも努められたい。

町道下黒坂線道路改良事業

事業の進捗が計画より遅れてきている。町として予算要望など積極的な取り組みを行い、予算確保に努められたい。

決算の注目点

収入未済額が依然多額

税金や貸付金など、各年度末までに町に対して納められなければならないのに、まだ納められていないものが「収入未済額」です。

平成30年度末では、一般会計・特別会計合わせて1億1251万円で、昨年と比べて約423万円の減額となりました。

この要因としては固定資産税2件61万円、国民健康保険税1件130万円の不納欠損処分をしたこと、また住宅新築資金等貸付金の回収が進んだことなどが考えられます。

住宅新築資金等貸付金、災害援護資金貸付金の未納額は前年度より減少しているものの、依然として多額です。また、町民税や固定資産税では新規滞納者も出ている状態です。

未納者も多重債務化の状

不能欠損処分

況にあるが、未納額が財政運営に及ぼす影響は大きい。未納額の徴収、回収に努められたい。

これまで「収入未済額」に計上して町が未収金の徴収に努めてきたが、やむを得ぬ事情でこれ以上の徴収が見込まれないと判断した場合には「不納欠損処分」が行われます。30年度には3件、合計191万円発生しました。

不能欠損処分を行うと、実質的に町の持っている債権が消滅することになります。従って、実施にあたっては実態を十分に把握して公平を期し、慎重に取り組み必要があります。

不用額

歳出予算現額から支出済額及び翌年度への繰越額を控除した残額が「不用額」です。平成30年度では2億



手前が育成牛、向こうが競り市に出す仔牛

3673万円と多額でした。当初予算を編成する際は、十分考慮した予算編成とし、執行状況によっては、必要に応じて減額補正するなどの対策を講じられたい。

決算認定に

賛成

- 中山 法貴議員
- 梅林 敏彦議員
- 山形 克彦議員
- 金川 守仁議員
- 松尾 信孝議員
- 中原 信男議員
- 安達 幸博議員
- 竹永 明文議員
- 佐々木 求議員

反対

収入未済額

| 区分 | 調定額 | | 収入済額 | 収入未済額 | 対前年比 |
|------------|----------------|----------------|--------------|----------------|---------------|
| | (納入すべき金額) | (納入した金額) | | | |
| 町民税 | 109,079 | 108,444 | | 635 | 84 |
| 固定資産税 | 221,903 | 207,521 | 612 | 13,770 | ▲34 |
| 住宅使用料 | 15,987 | 14,607 | | 1,380 | 37 |
| 住宅新築資金等貸付金 | 61,240 | 2,284 | | 58,956 | ▲1,856 |
| 災害援護資金貸付金 | 14,521 | 647 | | 13,874 | ▲647 |
| 国民健康保険税 | 77,606 | 54,813 | 1,301 | 21,492 | ▲1,913 |
| その他 | 294,269 | 291,860 | | 2,410 | ▲99 |
| 合計 | 794,605 | 680,176 | 1,913 | 112,517 | ▲4,230 |

1億8357万円を追加して、 予算総額は35億円に



町営バス車庫

- 追加予算の主なもの
- 過疎バス対策 227万3千円
- 千円町営バス車庫に、運転者用の休憩施設を整備するための費用を補助する。 290万7千円
- 道路維持一般管理 501万4千円
- 交通安全施設整備 272万7千円
- 橋梁修繕 147万6千円
- 農業水路長寿命化 1000万1千円
- ひのっこ保育所（オーブ

| 賛成 | 反対 |
|---------|---------|
| 中山 法貴議員 | 山形 克彦議員 |
| 梅林 敏彦議員 | 竹永 明文議員 |
| 金川 守仁議員 | 佐々木 求議員 |
| 松尾 信孝議員 | 安達 幸博議員 |
| 中原 信男議員 | |

補正予算の採決

審議の結果、下記修正を除き、補正予算案は賛成多数で可決された。

- 更新 249万7千円
- 日野中学校（教室ドア取り換え） 290万7千円
- 災害復旧工事 332万円
- 基金積立（公共施設等長寿命化基金積立） 1億2499万円

一般会計補正予算

一般会計補正予算に対する修正動議



提案された住宅予定地

採決の結果、修正動議は全員一致で可決され、この若者定住向けの住宅建設事業の予算（4651万円）は、補正予算から削除された。その他の補正予算は、賛成多数で執行部提案通り可決された。

当初提案された補正予算には、若者定住住宅建設のための予算（4651万円）が含まれていた。しかしながら、下記を理由として当該予算の全額を減額する修正動議が一部議員から出された。

主な修正の理由
（修正動議口述より抜粋）

- 予定地の選定について、議会に十分な説明がなされていない。
- 提案された予定地は、駐車スペースを含めて十分な広さが確保されていない。
- 過去に予定地一帯は福祉ゾーンとするという認識があった。したがって執行部は建設予定地を変更すべきと考え、提案された予算の減額を求める。

○一般会計・特別会計決算

(単位:千円)

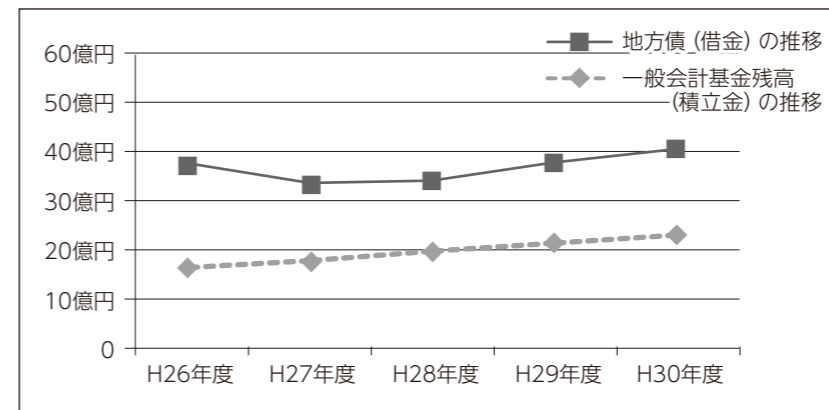
| 区分 | 歳入総額 | 歳出総額 | 差額 |
|-----------|-----------|-----------|---------|
| 一般会計 | 3,617,563 | 3,363,857 | 253,706 |
| 特別会計 | | | |
| 国民健康保険 | 407,503 | 399,665 | 7,838 |
| 介護保険 | 639,523 | 611,346 | 28,177 |
| 後期高齢者医療保険 | 54,940 | 54,716 | 224 |
| 簡易水道 | 96,253 | 96,253 | 0 |
| 公共下水道事業 | 147,622 | 147,572 | 50 |
| 農業集落排水事業 | 38,175 | 38,175 | 0 |
| 計 | 5,001,579 | 4,711,584 | 289,994 |

○地方債(借金)の推移

(単位:千円)

| 区分 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 一般会計 | 2,239,395 | 1,981,516 | 2,144,711 | 2,524,681 | 2,852,998 |
| 特別会計 | | | | | |
| 簡易水道 | 572,040 | 513,330 | 457,877 | 486,700 | 455,623 |
| 公共下水道事業 | 589,660 | 536,556 | 495,882 | 475,285 | 467,713 |
| 農業集落排水事業 | 325,559 | 299,555 | 278,463 | 258,801 | 238,738 |
| 計 | 3,726,654 | 3,330,957 | 3,376,933 | 3,745,467 | 4,015,072 |

一般会計基金残高と地方債(借金)の推移



伯備線利用促進

○一般会計基金残高(積立金)の推移

(単位:千円)

| 区分 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 財政調整基金 | 1,401,607 | 1,523,031 | 1,624,508 | 1,571,561 | 1,565,826 |
| 減債基金 | 135,602 | 135,667 | 235,716 | 235,845 | 235,934 |
| 地域振興基金 | 7,685 | 7,687 | 7,689 | 7,691 | 7,692 |
| 町営バス購入基金 | 26,035 | 31,021 | 22,752 | 25,419 | 25,921 |
| 観光振興事業基金 | 21,822 | 31,112 | 31,357 | 25,069 | 23,931 |
| その他基金 | 23,633 | 27,827 | 25,592 | 245,139 | 413,688 |
| 計 | 1,616,384 | 1,756,345 | 1,947,614 | 2,110,724 | 2,272,992 |

条例改正

令和元年10月1日より消費税が10%に引き上げられることにより、以下の6特別会計の補正予算が提案され、可決された。

○国民健康保険特別会計

・2万6千円を追加し、総額を3億5048万9千円とする。

総額を5460万8千円とする。

○簡易水道特別会計

・437万3千円を追加し、総額を7761万4千円とする。

○介護保険特別会計

・2771万9千円を追加し、総額を7億2480万6千円とする。

○公共下水道事業特別会計

・41万8千円を追加し、総額を1億8421万4千円とする。

○後期高齢者医療保険特別会計

・22万5千円を追加し、

○農業集落排水事業特別会計

・93万3千円を追加し、総額を4017万3千円とする。



高校生等に奨学金を交付

日野町防災基地整備

工事の請負契約の締結

災害時のヘリコプターの離着陸場を滝山公園近くに建設する工事請負業者を、指名競争入札によって決定、これを議決した。契約金額は5280万円。



防災基地の建設用地

人事

日野町固定資産

評価審査委員の選任

以下の3名の選任に同意した。

- ・若林昌文氏
- ・上谷 修氏
- ・金田雅夫氏

○高校生等就学支援事業

・日野町内に住所があり、高等学校、工業高等専門学校、高等特別支援学校及び特別支援学校高等部の第1学年から第3学年に在籍する生徒に年額2万5千円の奨学金を給付する。令和元年度の事業費は187万5千円。

日野町過疎地域

自立促進計画の変更

日野町過疎地域自立促進計画の「教育の振興」に次の事業を追加する。

令和元年7月26日臨時議会開催

一般会計補正予算を承認、豪雨災害早期復旧へ

7月6日(土) 早朝に発生した集中豪雨による災害の復旧工事のための補正予算として4895万9千円が提案され、可決された。

集中豪雨による道路・河川復旧補正予算

歳入の財源内訳

| | |
|------------------|----------|
| 国庫支出金 | 1130万2千円 |
| 県支出金 | 428万円 |
| 財政調整基金 | 1087万7千円 |
| 町債 | 2250万円 |
| (内訳) | |
| ・公共土木施設補助災害復旧事業債 | 560万円 |
| ・公共土木施設単独災害復旧事業債 | 1590万円 |
| ・林業用施設単独災害復旧事業債 | 50万円 |
| ・農業用施設単独災害復旧事業債 | 50万円 |

支出の内訳

| | |
|-----------------|----------|
| ・民生費(保育士・事務補助員) | 257万4千円 |
| ・農林水産業費 | 8490万円 |
| ・教育費(パソコン) | 124万2千円 |
| ・災害復旧費 | 3665万3千円 |
| ・農林水産業施設災害復旧費 | 372万3千円 |
| ・公共土木施設災害復旧費 | 3293万円 |

災害発生状況

- (1)住宅被害
 - ・床下浸水 1件
 - (上菅古川地区)
- (2)国道被害
 - ・小河内〜上菅間の落石と冠水
 - ・JR上菅駅上側の道路の落石と冠水



災害現場(久谷地区)

- (3)町道 4ヶ所
- (4)普通河川 4ヶ所
- (5)農業用施設 6ヶ所
- (6)農地 24ヶ所
- (7)林業用施設 4ヶ所
- (8)根雨小学校パソコンネットワークハードディスク破損 1台(落雷被害)



災害現場(三谷地区)

質疑

【議員】災害復旧事業は単町費を使うことでもあり、工事費には十分留意するようにしていただきたい。

【町長】緊急性は高いが、無駄のないようにしたいと思えます。

【議員】落雷被害を受けた根雨小学校のネットワークサーバー被害について、事前の予防対策はできなかったのでしょうか。

【教育課長】被害は想定できなかつたと思いますが、

データを一つのハードディスクで整理・保管・管理することを定めていた面もあり、そのハードディスクが落雷の被害を受けました。今後は、データ復旧に頼らない状態で管理できるようにすることとします。

【議員】今後、損害保険等の加入は考えておられないのでしょうか。

【教育課長】現在は、保険には加入していません。今後の課題として検証していきます。また、どのような保険があるのかも調査していきます。



安達 幸博議員

SDGsへの取り組みを

答次期日野町地方創生戦略の策定に視点、理念を取り入れる



議員 持続可能な開発目標SDGs（エスディージーズ）とは、貧困や教育・環境など17の取り組みです。この国際目標の意義と現状をどのように捉えていますか。

町長 本町の地方創生の取り組みは、森林保全や農業、エネルギー、健康、教育、地球温暖化対策など、SDGsの考え方と関連している部

分が多くあり、きらり日野町創生戦略を軸とした地方創生の取り組みを行うことが、結果としてSDGsの推進に繋がると考えます。

SDGsは、子育て、教育、産業、農林業、雇用、健康、ごみの分別、無駄な廃棄等の環境問題、節水、節電、女性の活躍推進など、個人、団体、企業など全てにかかわりがあります。

次期日野町地方創生戦略の策定に当たっては、SDGsの視点を意識し、理念を取り入れながら、2030年の日野町のありたい姿、未来図をつくり上げ、長期を見通した日野町版SDGs、持続可能な日野町のまちづくりに取り組むことが必要だと考えております。

議員 SDGsを推進にあたり、推進室や啓発拠点の考えをお聞きます。

町長 全ての課に関連のある取り組みですが、企画政策課において推進し、役場庁舎を拠点として対応したいと考えております。

議員 旧山陰合同銀行の活用検討委員会の答申に、多目的ホールとして活用する案があります。SDGsの啓発拠点に活用しませんか。

町長 現在、活用方法を検討中です。1つの案として参考にさせていただきます。



旧山陰合同銀行

議員 将来の財政負担軽減の観点から、借地行政からの脱却を推進する必要性を感じますが、その中で金持テラスひのの土地を借地ではなく、町が取得する考えはありませんか。

基本的には将来の負担も考慮し、用地を取得したいと考えております。ただ、現時点で地権者との交渉はまとまっておりません。取得への道筋はついておりません。

町長 金持テラスひのの用地につきましては、最初は借地でスタートしました。

議員 その他の借地についても、今後再契約のとき、地権者と十分協議をし、財

政の負担軽減に努めていただきたいと思います。と思いますが、町長の考えはどうでしょうか。

町長 借地料の契約更新は、一部を除き土地の評価替えを3年ごとに行っております。近年は評価額が下がりがり続けております。議員おっしゃる通り、財政負担の軽減に努めることは重要と思っておりますので、地権者の方々の理解を得ながら交渉してまいりたいと存じます。



町借用地（おしどり荘周辺）

要性を感じますが、お考えはありますかでしょうか。

町長 政府はその対策として、年金生活者支援給付金の支給やプレミアム付商品券の発行などの対策を行うと聞いております。町は、これらの施策について広報や手続支援に努めてまいりたい、そのように存じます。

借地行政からの脱却を

答財政負担の軽減に努めます



中原 信男議員



町借用地（金持テラスひの）

町民の福祉向上に資する施策を

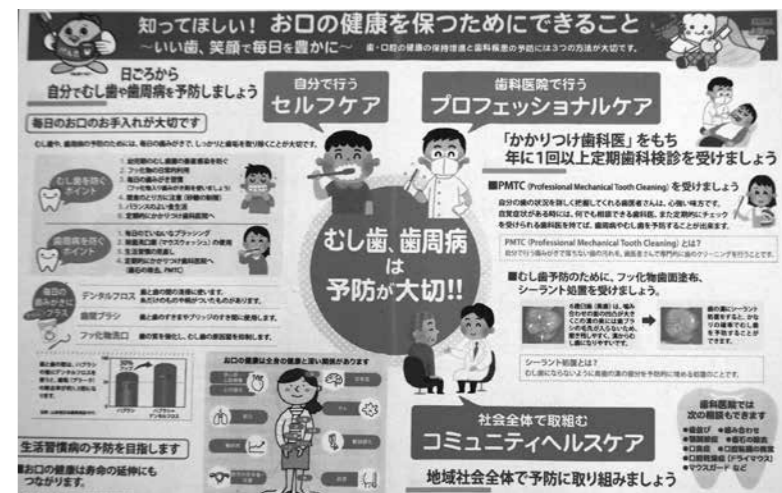
議員 10月から消費税が10%になります。特に、ひとり暮らしの方や高齢者世帯の方たちの生活は苦しくなる一方だと推察をします。町独自の支援策を講じる必



佐々木 求議員

子供の歯科治療を急げ

答 小学生の検診後の治療率は40%



歯科検診推進パンフレット

きではありませ
んか。

教育長 歯科検
診受診率は小中
とも100%。

歯科検診後の受
診率は小学生が
40%、中学生は
該当生徒がいま
せん。健診結果
を保護者に渡し
受診を促してい
る。学校独自の
作成した健康手
帳にも記載し、
学期末の段階で
再度健診結果を
渡しています。

議員 歯医者を受診を指導
しているのに指導しきれて
いないのでは。

町長 しっかりフォローし
ていきたいです。

議員 国保基金についての
活用は、基金を生かし、特



松尾 信孝議員

生活関連インフラの 将来をどう考えるか

答 民間依存の限界を認識する

議員 山陰合同銀行の根雨
駅前ATMの廃止をきつ
かに露呈した、民間依存の
生活関連のインフラの将来
についてどう考えますか。

町長 民間企業のものです
べて町で賄えないので、支
援すべきものは支援してい
くというスタンスで取り組
みます。

議員 民間である以上、採
算が取れなければ撤退・廃
止は避けられない。それを

受身的に対応するのでなく、
将来を見据えた検討を開始
すべきではありませんか。

町長 それについては調べ
てみますが、引き続きこれ
までの方針に基づいてやっ
ていきたいと思っています。

議員 これからは、従来の
業種を超えたり、広域的に
取り組む体制が必要と思い
ます。それを主導するのが
行政の役目であると考えま
すが。



このままでは12月に廃止となる根雨駅前合銀ATM

定検診の事業や展開で被保
険者に還元していくと何度
も答弁されてきましたが、
取り組みの成果はどうで
すか。

町長 健康づくり事業は、
平成30年度664万円、令
和元年は701万円と増額
してきました。受診率向上
のため、いろいろな工夫を
して一歩一歩進めたい。

仮避難所の設備充実を急げ

議員 地域の防災力をつけ
るためには仮避難所の道具
や器具の整備は避けられな
い。点検整備を急ぎ、AED
も要所には計画的に配置を。

町長 地域の方が地域力の
中で確認するのが第一。そ
れを役場も共有していきま
す。



(AED) 自動体外式除細動器



リバーサイドひの

町長 おっしゃる通りだと
思います。

くってはならない重要な施設
と考えています。

リバーサイドの今後は

議員 来年3月に指定管理
の契約が終わるリバーサイ
ドを、今後どうするつもり
ですか。

町長 住民の交流の拠点で
あり、町内唯一の宿泊施設
であり、観光の拠点という
観点からも、町にとってな

議員 指定管理者の選定は
どうしますか。

課長 現在の指定管理者の
継続を一義的に考えますが、
それにとらわれず広く公募
をかけ、適正な指定管理料
を算定中です。

町長 より一層の活用が重
要課題と考えます。



山形 克彦議員

働く場所の確保が 移住・定住の必須条件では

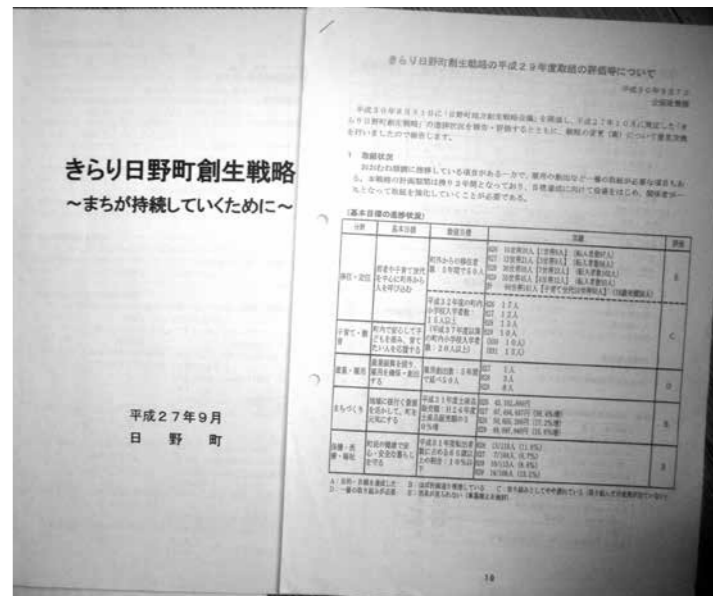
答 地域資源を活かした仕事づくりを進めたい

議員 施政方針に掲げている「きらり日野町創生戦略」の仕上げをするため、どこに重点を置き、さらに一歩踏み込んだ施策の展開をされるお考えですか。

町長 創生戦略の業績評価指標に沿って進めています。内容によっては目標に届きにくいものもあり、問題点などを洗い出し工夫して進めたいと考えています。

議員 創生戦略の内容によつては目標の達成には、ほど遠いものもあるとのことですが、そういった事業内容は把握をされていますか。

町長 業績評価指標の中で進捗が遅れていますのは、雇用の創出が非常に遅れているところですが、一歩気になっているところがあります。



平成27年9月 日野町

議員 移住・定住を進めるには、まず働く場所を確保することが必須の条件と考えますが、町長の言われる「仕事づくり」の取り組みはどのようなものがありますか。

町長 特産品の販売や新たな掘り起しによって生産や流通の現場にもつながり「仕事づくり」となっているものがあると思っています。こうしたことを捉えて農林業や観光業の振興に努めてま

いたいと考えています。

根雨駅西側線は不必要

議員 一年以上も放置され、利用者が極めて限定的で投資効果も見込めない「金持テラスひの」に通ずる町道根雨駅西側線の道路改良工事は中止をされてはいかがでしょうか。不要だと思いますが。

町長 発注が遅くなったことは申し訳なく思っています。この町道改良にかかわる予算は、議会で承認を頂いていまして進めたいと思っています。ご理解をお願いします。



町道根雨駅西側線

県のモデル事業の 選定結果を問う

答 諏訪集落が選ばれ、その事業成功例を活かしたい



梅林 敏彦議員

議員 6月議会において私は2つの質問をしました。1つは、県による「集落再生システム構築事業」に参加の手を挙げるべきかどうかという提案でした。その後、町はこの事業にエントリーされましたが、その結果報告を求めます。

町長 移住者の受け入れなどによって集落機能維持を図ろうとしている集落として、菅福地区の諏訪集落が

ら協力・理解が得られ、モデル地区として選ばれました。また、これ以外にも日野振興センターとタイアップして久住集落の集落維持に取り組み予定です。

議員 諏訪集落の事業の着手時期と今後のスケジュールを伺います。

課長 この8月に県と役場、それにご指導をいただく鳥取環境大学の先生とで第1



県のモデル地区に選定された諏訪集落

回の打ち合わせをし、さらに近いうちに地元に向いて話を聞く予定です。今年度は課題の整理と解決策の検討をし、来年度は試行的に事業を実施、3年目の再来年度に本格的な事業展開をする予定です。

議員 6月議会でのもう1つの質問は集落支援員についてでした。集落再生のための支援は今回選定のモデル地区だけでなく、衰弱し

ているすべての集落で実施されるべきで、そのためには専門の集落支援員が必要です。専門の支援員を採用する計画はありますか。

町長 前述の「集落再生システム構築事業」が完了した暁には、この事業と集落支援員を一体のものとして、モデル事業の成果を集落支援員のノウハウとしたいと考えています。



町と日野振興センターが支援を決めた久住集落

総務経済常任委員会活動報告

今期の総務経済常任委員
会では、農林業、商業、
サービス業など町内で事業
を営む企業、グループ、個
人の方々と意見を交換しま
す。それにより、事業者が
現在抱えている問題、将来
の課題を抽出し、その結
果、解決に向けた提案をし
ていくことを目指します。

その第一回目として、7
月11日に現在町営バスを委
託運行し、タクシー事業も
展開している日野交通から
山本社長をお招きし、「日
野町公共交通の現状と今後
について」のテーマでお話
を伺い、意見交換をしまし
た。



町内交通の現状

- ・路線バスの乗車人員は年々減少している。
- ・運賃助成のタクシーの利用者は年々増加している。
- ・運転者の高齢化、人手不足が問題となりつつある。

意見交換の結果、高齢化、運転免許返上などにより、移動手段として町内公共交通の整備充実は重要な課題であると認識されました。

これを福祉行政、金持テラス、リバーサイドなどの町内施設の有効活用と結び付ければ、健康増進、経済効果などの結果として行政にもメリットがあると考えます。

教育民生常任委員会活動報告

日野町には現在
2つの小学校、1
つの中学校があ
り、127人の子
どもたちが通っ
ていますが、少子化
により子どもの数
が減っていく中
で、町内の小学
校・中学校の教育
の在り方を教育民
生常任委員会で協
議しています。

学校制度におい
ては、小学校課程
から中学校課程ま
での義務教育9年
間を一貫して行う
小中一貫校、さら
に小学校と中学校を完全に
一つに統合する義務教育学
校も視野に入れ協議してい
ます。
その中で、この度、10月
18日に義務教育学校の視察
を行いました。



視察先…京都市立京都大原
学院
平成21年に小中一貫校を
開設。平成30年に義務教育
学校となる。
視察・意見交換の結果、
義務教育学校は、9年制を



生かしたカリキュラムを組
み指導することで、学習面
だけでなく社会性の育成に
も効果が期待できると感じ
ました。また、京都大原学
院では、地域とともに学校
づくりをするコミュニ
ティ・スクールが進んでお
り、これらも日野町での学
校教育にぜひ取り入れたい
と思いました。
今後、執行部に対して委
員会の考えをまとめ、提言
したいです。

鳥取県西部町村議会議員研修会

主催 鳥取県西部町村議会議長会
会場 南部町天万庁舎 「まんでんホール」
講師 滋賀県大津市 市議会局次長 清水克士氏

講演は、次のような問題
提起から始まりました。

大津市議会が策定した
議会BCP「業務継続計
画」について説明した
時、ある地方議員のこ
メントが「災害時に議員が

できることなんか何もな
いよ」、執行部からは

「災害時まで議会対応な
どやっとならないよ」と
意見が聞かれた。地方議
会は二元代表制の一翼を
担う立場にありながら、
本当に非常時には何もで
きない存在な
のだろうか？

これらのコメ
ントは、災害発
生の非常事態に
議会組織はその
対応力を持ち合
わせていないこ
とを指摘し、地
方議会にとって
はまさに自殺行
為ともなること
を指摘したもの
です。



逆に、議会ならではの強
みもあります。たとえば
「一歩先を見据えた復旧、
復興策」について議論を始
めることもできます。
実際に大津市議会開催中
に地震災害避難訓練を実施
した結果、議場では各議員
席の下に議員が身を守る行
動ができなかったとのこ
と。固定された椅子が弊害
となつて机の下に入れない
始末だったそうです。

その他、「想定外を想定
する」「常識の見直し」
「マニュアルの再点検」な
どを強調されました。日野
町も多くの災害を経験して
いることから執行部ととも
に話し合いを進め、高齢化
が進むことを考慮した災害
対応が求められ、真剣に議
論し実行することが必要だ
と強く意を新たにしました。

日野町江府町日南町 衛生施設組合議会 報告

第3回日野町江府町日南
町衛生施設組合議会が8月
27日に江府町役場で開催さ
れました。上程されたすべ
ての議案が提案どおり、全
員一致で可決されました。

主な議題
・報酬及び費用弁償に関す
る条例の一部改正

- ・特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- ・し尿処理条例の一部改正
- ・平成30年度会計歳入歳出決算の認定
- ・条例第2号の一部を改正
- ・監査委員の選任

その他 報告事項
6月から7月までの修
繕・委託・工事契約状況の
説明



日野町江府町日南町衛生組合し尿処理センター清化園

特集 行動

がんばっている人・団体を、シリーズで紹介しています。

黒坂カワコ公園を守る人たち

黒坂カワコふれあい公園、通称カワコ公園は平成7年（1995年）、鳥取県によって建設され、日野町に管理が任せられました。そして、黒坂地区の全自治会から一人ずつ委員が選ばれて「黒坂カワコふれあい公園

維持管理委員会」が結成され、現在に至るまで、地元のみなさんによるボランティア活動で公園の清掃・草刈が行われてきています。今年も、天理教奉仕団による清掃、そして年2回の「公園美化住民一斉清掃」

グラウンドゴルフの練習風景

など、たくさんのご協力をいただきました。特に9月22日に実施した一斉清掃では、台風接近中にもかかわらず

ず、30名を超す方々が雨に濡れながら日野川土手の葎を刈ったり、東屋の周囲の草取りをしてくださいました。

年間10回も開催されるグラウンドゴルフ大会

こうした奉仕活動に支えられ、カワコ公園は町民の憩いの場として親しまれています。運動会、キャンプ、また広場の上の東屋はバーベキューやワークシヨップの場としても使用されています。そして、カワコ公園が最も頻繁に利用されるのは、グラウンドゴルフです。いつでも誰でも自由に利用でき、晴れた日には町内外から毎日のように練習に來られています。大会の開催も多く、年間10回近くの熱戦が繰り広げられています。ただし、公園の維持管理については課題もあります。毎月3回、乗用草刈機で芝生を刈り揃えているのです



ワークショップ会場としても活用

が、この草刈機は15年以上も前に中古を町に購入してもらったものです。そろそろ寿命が尽きようとしており、新しい乗用草刈機が欲しいところです。

また、ご他間にもれず、黒坂も高齢化と人口減少が進んでいます。

それでもなんとか、新しい協力者さんに参加していただき、これまで通り、いつでも、誰でも、自由に利用できる黒坂ふれあいカワコ公園であり続けたいと願っています。

（黒坂ふれあいカワコ公園維持管理委員会

会長 和田佳洋）

あしがき

スポーツの秋。文化の秋。芸術の秋。食欲の秋。秋は、週末ごとにあちらこちらでイベントが展開します。あっちのイベントも見たいし、こっちのイベントも体験したい。けれどその日は、自分たちが実施するイベントの日だったりします。体はひとつしかないので、結局、諦めざるを得ないことが多々あります。

この近年、日野町でも本当にたくさんイベントが開催されるようになりました。それも、楽しいものが多くなりました。中には、町内より町外からのお客さんのほうが多いのではないかと考えるイベントもあります。

日野町の皆さん、出かけましょう。自分たちの町の、自分たちのイベントです。

（梅林敏彦記）

議会広報常任委員会

委員長 金川 守仁
副委員長 梅林 敏彦

佐々木 求
中原 信男
松尾 信孝
中山 法貴